

たかのすやま 鷹ノ巣山ブナ・モミ希少個体群保護林

広島県のほぼ中央に位置する鷹ノ巣山（922m）は、頂上からの展望の良さや冬の雲海が人気の登山スポットで、晴れて空気の澄んだ日には遠く瀬戸内海の島々まで見渡すことができます。保護林に設定されているのは、山頂東側斜面にわずかに残されたブナやモミの天然林（約4ha）で、広島県のブナの南限地の一つとされる貴重な林です。



ブナとモミが主体の混交林。モミは健全に生育しているものの、ブナは後継樹が確認されず存続が危ぶまれている。



ブナは大木も多く、登山者を温かく見守るように葉を広げている。

なめらやま 滑山アカマツ・ブナ・コナラ等遺伝資源希少個体群保護林

昭和30～40年代にかけて、滑山国有林一帯から銘木「滑マツ」が多く生産されました。現在は、標高800～900m付近の尾根を中心に数十本の滑マツが残存するのみとなっています。保護林内では、アカマツの稚樹周辺のササの刈払いなど、次世代の滑マツを育成するための取組を行っています。



樹齢200年、直径60cmを超えるアカマツのみが滑マツと呼ばれ、皇居や錦帯橋にも使用された。



保護林上部に残るブナを主体とする天然林は、本州最西端のブナ林とされ、登山道沿いで見ることができる。

Message

国土のおよそ7割が森林である日本。
森林には、国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止など
多くの多面的機能が存在しています。

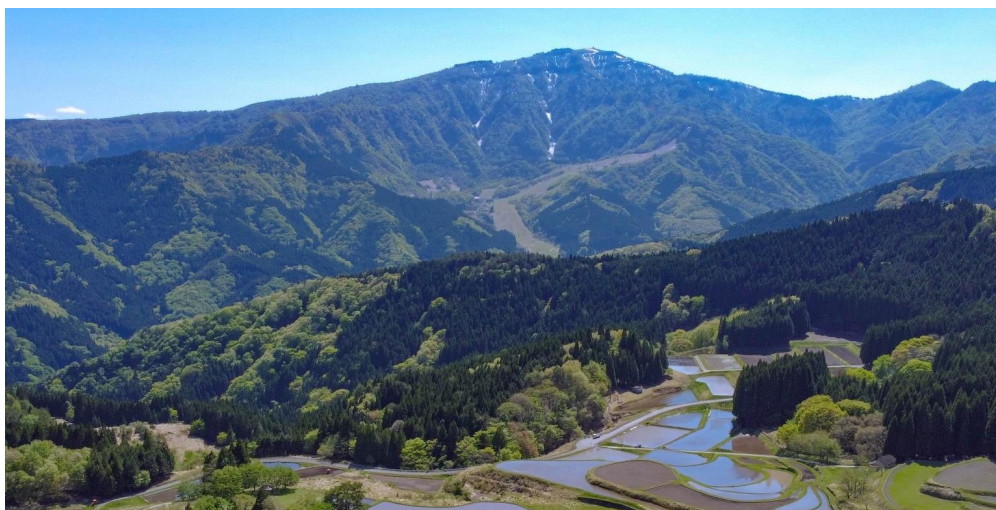
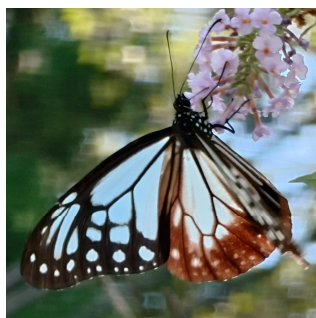
原生的な森林生態系からなる自然環境の維持や野生生物や遺伝資源の保護は、
優美な自然を次世代に残すことに加えて、
生物多様性の保全にも貢献するものです。

一方、生物多様性の損失は深刻化しつつあります。
2030年までにこれを食い止めるべく、G7サミットで目標が立てられるなど
国際的にも生物多様性保全の重要性は高まっています。

私たちの身近にある森林を適切に管理し、
保護し、森林生態系のバランスを維持することは
巡り巡って私たちの暮らしに恵みを与えてくれます。
このミニガイドが、保護林を知るきっかけになれたのなら嬉しい限りです。



【写真：都市近郊林から望む保護林】
摩耶山天然スギ希少個体群保護林



保護林に関する情報は、
近畿中国森林管理局ホームページにも掲載しています。

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/keikaku/shinrin_keikaku/
protected_cloister/protected/index.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/keikaku/shinrin_keikaku/protected_cloister/protected/index.html)

ホームページは
こちら ▶



発行元 / お問い合わせ先

林野庁 近畿中国森林管理局 計画保全部 計画課

住所: 〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1丁目8番75号

TEL: 06-6881-3557

【裏表紙写真】

上段左:クルマユリ(白山森林生態系保護地域) 上段中央:ヤマガラ(大杉谷森林生態系保護地域)

上段右:アサギマダラ(摩耶山天然スギ希少個体群保護林) 下段:氷ノ山・三の丸生物群集保護林 遠望

【表表紙写真】 大山森林生態系保護地域

※本冊子の内容は令和8年4月1日時点の情報に基づいています